

耳で聞く「嶋中貴志 News Letter No.61」(4分22秒) QRコードをスキャンしてください。



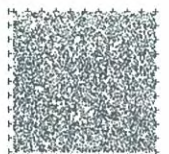
活動報告

会派として市長に緊急要望

8月31日(金)

学校における児童・生徒の熱中症対策について、自転車の安全利用の条例化に関して、市民ニーズに合った安価な納骨堂の整備、の3点について行いました。

郡市長からは、「検討、調査を行っていく」と前向きなお話がありました。



国道48号、八幡6丁目内の歩道調査

7月7日(土)

地域の皆様から歩道の不具合について、改善を求める声が多く、町内会長さんからご相談があり、現場を視察しました。

会長さんのお話によると、道路の改善は路面のオーバレイやガードレールの交換、土砂崩れ対策等おこなっていただき感謝しているが、歩道部分はコンクリートの蓋を乗せた状態が、40年くらいそのまま、ベビーカー等、高齢者、また通学路にもなっており、さらに、大型コンテナ車両、特大車両の通行が多くなり、歩行者と車両の間は1メートルもなく、極めて

危険な状態であるとのことでした。できるところから改善していただき、将来的には車椅子が利用可能な道路整備をお願いしたいとご要望をいただきました。

聖橋～文殊堂参道間の急カーブもあり、道路形態の抜本的な改善も必要かなと感じ次第で、全力で取り組むと約束しました。



旭ヶ丘1丁目地内の側溝についてご相談があり、訪問いたしました。

一部側溝には蓋があるがないところが多く、葉っぱ

や土砂が側溝に堆積し困っているとの内容でした。関係当局に申し入れると約束しました。



地域経済活性化調査特別委員会で有識者から意見聴取

8月22日(水)

地域企業の活性化について、堀切川一男(東北大学工学研究科・工学部 ファインメカニクス専攻 材料メカニクス講座 知能システム工学分野)教授からお話を伺いました。

堀切川先生は新しい地域産学官連携スタイル、「仙台堀切川モデル」、「福島堀切川モデル」を確立され、地域の中小企業との共同開発により、長野オリンピックのボブスレー日本代表チームのランナー(刃)や、米ぬかを原料とする高機能・多機能炭素材料RBセラミックス、滑りにくい靴・サンダル、車いす用電動駆動ユニットなど、数多くの新製品を生み出して来ら

れ、2007年には第5回産学官連携功労者表彰「科学技術政策担当大臣賞」を受賞された方です。

モデルといわれるスタイルの特徴は、「御用聞き型企業訪問」とのことで、企業に先生自ら出向くということです。新商品も披露していただきましたが、あったら便利だなというものばかりでした。

大いに参考になるお話ばかりで、他の議員からも讃嘆の意見が飛び出しました。「仙台堀切川モデル」をさらに展開させ、仙台の経済活性化につなげていきたいと思いました。



安全対策要望 現場調査(台原2丁目15地内)

9月17日(月)

党员さんからご連絡をいただき、現場調査いたしました。見とろしが悪いというか、一方が全然見えない斜めで交差する箇所でした。ご相談者からは「すぐに

来てくれて」と感謝の言葉をいただきました。私道路のようで、対策を行政と検討すると申し上げました。

